



魚津市制施行40周年

「曇気楼の見える街」魚津

夏の夜空を彩る
打ち上げ花火4040発

主な内容

- 「ふるさと」を語るフォーラム…2～5
- 魚津まつり……………6・7
- 憩いの広場……………10・11
- お知らせ……………12・13



広報

うおづ'92



発行所/富山県魚津市釈迦堂一丁目10番1号 魚津市役所(〒937)(☎0765-22-2200)
あなたと市政をむすぶ広報うおづ 毎月1日発行 通巻562号 平成4年9月1日発行



ふるさとを語る

フォーラム

「誰もが住みたくなるまち——若者に魅力あるまちづくり」をテーマとして「ふるさとを語る」フォーラム（主催 魚津市）が、8月7日、ホテルサンルート魚津で開かれました。フォーラムでは、「若者はなぜ魚津を離れるのか」「魅力ある町にするにはどんな方法があるのか」など、市民約一五〇人の聴衆の前で、4人のパネラーが熱心な議論を繰り広げました。

パネラー

（敬称略・順不同）

赤尾 寿一

高松 正義

伊藤 甚宰

沢泉 栞

コーディネーター

小杉 紘平

基調報告



魚津市長
石川 精二

「誰もが住みたくなるまち——まち」をめざして

魚津市が「誰もが住みたくなるまち」をめざして、「これからどんなことを進めていかなければならないか」について、私が考えていることをお話しします。

まず第一に、道路網の整備です。特に、国道8号バイパスや新川広域農道を早く完成させなくてはなりません。

第二に産業の活性化です。中山間部の開発を基礎とした企業地造成や企業の誘致を進め、また、宅地の造成も行わなければなりません。

第三に高齢者福祉の充実です。これからの高齢化社会に対応した福祉サービスの充実を図らなければなりません。

以上三点を考えているわけですが、魚津市には、まだまだやらなければならぬことがあると思います。今日はパネラーの先生方から、ご意見、ご助言をいただきたいと願っております。

どうぞよろしくお願い致します。

なぜ 若者は魚津を離れるのか

●富山県は、「住みやすい県」の上位にランクされています。しかし、現実の問題として、「人口の流出」特に若者の流出があります。住みやすいと言われながらも、なぜ県民には満足感がないのでしょうか。なぜ若者が魅力を感じないのでしょうか。

ではここで、若者はどうして東京などの都会へ行ったがるのか「先生方の考えを伺いたいと思います。」

都会には

収入を得る場がある

赤尾 私も魚津を離れた一人ですので、自分の場合のことを含めて申し上げます。都会へ人が集まるのは、そこに「生活するための経済的な基盤がある」からだと思います。確かに、魚津に住む皆さんの家に比べれば、その何分の一の土地と部屋数の中で生活し、そしてそのローンの返済にも四苦八苦している。通勤時間も片道1時間半、2時間が常識である。しかし、こうした犠牲を払っても都会で生活している、そこへ行くというのは、そこには「収入を得る場」があるからです。

目に見えない

圧迫感がある

高松 魚津出身で今は横浜に住んでいる知人が、「都会は気楽ですね」と私に話し



パネラー 高松 正義氏
前帝人化成(株)理事
東京都日野市(紺屋町出身)

たことがあります。魚津では、ちよつと町を歩いているだけでジロジロ見られるような気がする一気分的に窮屈だと言うんです。

年をとった人でもそう感じるのですから、若い人たちにはそれ以上に窮屈だと感じるのではないのでしょうか。のびのびと、自由に、物事を言い、行動することに対して目に見えないブレーキがかかる—そんな圧迫感があるのかもしれない。

都会は若者にとって

魅力的なところ

伊藤 若者にとって東京は魅力的な所です。開放的で、夢があつて、仕事があつて、そして一人の人間として何かに挑戦できるのではないかと期待感があります。また、ショッピング・コンサート・イベントなどを楽しみ場所や機会が多

くあります。また、そういった情報もすぐに入ってきます。

実は、私も東京に憧れて大学生活の4年間を東京で過ごしておりました。そしてこのまま暮らしたいと思ったこともありました。

では、魚津は、「住みたくない町」といいますと、決してそうではないと思います。「住みたくても住めない」というのが実情ではないかと思えます。その理由の一つに、魚津は平野が少なく隣接市に比べ地価が高いということが掲げられると思います。東京へ行かないまでも、黒部市や滑川市に家を建てて移っていく人がたくさんいます。

●伊藤さんから魚津の実情についてのお話があつたわけですが、では、沢泉さんは、魚津には何が欠けていると思われませんか。

新しいものを

受け入れない

沢泉 自分たちとは違った新しい価値観や考え、文化などを認め、そして受け入れる懐の深さに欠けていると思います。このことを踏まえて、これからの街づくりに二つのことを提示したいと思っています。

まず第一に、これからの街づくりのキーワードは、「入りやすく出やすいまち」

だということです。入りやすいとは、市の内外を問わず異なった価値観や考え方などに対する包容力を持つていて、いろんな人を受け入れることができるということです。そして出やすいとは、ただ受け入れるだけの一方通行ではなく、自分たちもまた他を訪れる—人と人の交流が容易にできる、それが地域の交流に広がる、情報の交換が活発になる—ということだと思います。このような町であれば、町全体に活力が感じられるはずです。

第二に、市のキャッチフレーズにもなっている「水と緑」を魚津をアピールするために大いに活用するということです。

この水と緑は、すばらしい素材だと私は思います。しかし、今は、ただ単にすばらしい素材があるというだけです。これをうまく加工し、付加価値をつければ魚津を、魅力ある町として強力にアピールできると思います。



パネラー 沢泉 葵氏
(社)新川青年会議所副理事長
魚津市中央通り

どのように野として位置づけられるか

●若者に魅力ある街づくりを考える場合、魚津を日本の中で、富山県の中で、どのような町として位置づけていくのか、どう特色づけていくのかを指摘することが、これからの街づくりを進める上で、大きなヒントになると考えます。そのことについて先生方の考えをお聞かせください。

新川全域を

一つのグループとして

高松 まず、日本の国はどう進もうとしているのか、それに対して、富山県はどう進もうとしているのかを知ることが大切です。日本の中の富山県、富山県の中の魚津だということを念頭に置いて考えてみれば、魚津をどのような町として位置づけるべきか、何を期待されているのかがわかってくるように思います。

富山県から出されているパンフレットなどでは、富山県を富山・高岡・新川・

砺波・射水の5つのグループに分けていくようです。そして魚津は、新川のグループに入っています。この境がよくわからないのですが、滑川から東側を新川といっているのでしょうか。おもしろいことに、ある新聞社から出ている本にも、これと同じようなグループ分けが指摘されています。全国的に見ても、また、富山県内で見ても滑川から東側を一つのグループとして見ている、また、見えるということです。これは、これからの街づくりを考えるために大きなヒントを与えています。

つまり、これからの魚津は、魚津だけで機能しようとする、新川全体として物事を捕え、考え、行動していくべきだということなのです。

沢泉 高松さんのご意見に賛成です。街づくりの基本は、町をよく知ることだと思えます。私たちの町が置かれている状況を適格に捕えることから始まるものだと

と思います。

北陸経済連合会の指摘だったと思いますが、これからの町の生き残りの人口単位は15万人であるといっています。

経済や情報がこれだけ気密化した中で、すべてを魚津で行おうとしても無理です。ですから私も、これからは新川全体として物言を考えていくべきだと思います。そしてそのような未来をつくり上げていく中で、魚津には、是非、リーダーシップをとっていただきたいと思っています。

伊藤 この狭い魚津だけで、商業も、工業も、観光も、レジャーもということは、物理的に無理があります。新川という広域的な捕え方に私も賛成です。すぐには無理だろうとは思いますが、大きな目標として取り組んでいただきたいと思っています。

●「魚津を新川として捕えるべきである」という意見が出されましたが、まだほかにも意見があると思います。赤尾さ

んいかがでしょうか…。

アクションプランを

立てて行動を

赤尾 魚津市総合計画第5次基本計画を拝見させていただきましたが、このプランに述べられていることに対して異議を唱える方はいないはずですが、しかし、総花的なプランには、現実的に出来ることと出来ないこと、また、今すぐに取り組まなければならないものとそうでないものがあります。

魚津は、そのことを正しく見極めた上で、「何を」どのようにして「いつまで」に「どう」実際に行動するためのアクションプランを立てなければならぬ時期にきていると思います。

このアクションプランを立てる際には、20年先・30年先の魚津を考えて、また、もっと広い視野に立つて進めなければならぬと思います。

魅力ある街づくり何をするべきか

●街づくりの進め方についての考えを伺ってきました。

では最後に、魚津の未来をどうイメージされ、これから何をすべきかを伺いたいと思います。

山間部を開発し

新川の住居地として

高松 魚津は平野が少ないという話が出ました。また、昨年のフォーラムでも清

河前市長がお話しされていました。地図で見ると、確かに平野は少なく山に接近しているように見えます。しかし、実際には、急に高くなっているのではなく、比較的緩やかな傾斜で山に広がって

います。これくらいの高台でしたら今の土木技術を持てれば十分開発できると思います。

東京から中央線で甲府の方へ約1時間40分くらい行った所に四方津という駅があ



パネラー **伊藤 甚幸氏**
魚津市青年団体協議会長
魚津市島尻

伊藤 山間部の開発は、十分可能です。しかし、農業資源の確保や環境保護とい

駅前を整備し

イメージアップを：

●高松さんから「山間部を開発してはどうか」との意見がありました。専門家である伊藤さんはどう思われますか。

新川の中の魚津ということで話をしますと、魚津には新川の中で、衣・食・住の住を担当していただきたいと思えます。そして広い土地を必要とする工場などは黒部市や滑川市へ、入善町と朝日町には食料生産を、宇奈月町は観光をといったような役割分担された地域社会にできればと夢のようなことを考えています。

つたことも十分考え、慎重に行わなければならぬと思います。ただ、片貝地区や西布施地区・松倉地区では過疎化が進んでおり、地元の協力を得ながら宅地開発を進めることも必要だと思っています。

私は、魚津が「若者の集う町」になるよう願っています。では、どうすればよいかを考えますと、やはり、駅前を整備しイメージアップを図らなければならぬと思います。富山市で行われていた駅前再開発を魚津駅前にも行うべきだと思えます。また、魚津には飲食店が多くあります。中でもこの辺り（名前が無く通称「駅前」と言っているんですが）には特に多くあります。全国的に、こうした歓楽街が整備された所には人がたくさん集まってくると思います。ステーションビルを建てる、街灯を多くし明るくするなど整備してこの一帯をショッピングに遊びに：と若者が集まる所にしてほしいと思います。

青年団体協議会では、冬の暗いイメージを少しでも無くし、また、駅前のイメージアップを図ろうと、昨年、イルミネーション事業―イルミラージュUOZUを行いました。この事業は今年も行う予定にしております。できれば昨年以上の規模にしたいと考えています。

企業の誘致などで

産業基盤の充実を

沢泉 これからの魚津には、真に豊かなハイアメニティー社会の日本のモデルになるような都市になってほしいと思いま

す。のびやかで、いきいきした町になってほしいと願っています。

地域の活性化を図るには、やはり経済が基本になります。企業の誘致や造成を積極的に進め、産業基盤の充実を図っていただきたいと思っています。

教育・情報産業に

目を向けて：

赤尾 魚津に住むほとんどの方が、魚津は狭い、平野が少ないと言われます。海に近い部分だけを町にして、その中で住み、そして経済活動をしていくということであれば、確かに狭い所であるかもしれません。しかし、高松さんもお話されていましたように、国道8号線よりも山側はまだ都市化という問題とはほど遠く、開発する土地はまだ相当あるといえます。ですから、山間部を開発するというところで物理的・地理的な問題は解決するはずだと思います。

では、これからいったい何を、どうするかということですが：。私もこれといった具体的なアイデアは申し上げられない訳



パネラー **赤尾 寿一氏**
前日本ポラロイド株式会社
東京都練馬区(鴨川町出身)

ですが、これからは、教育部門・情報産業に目を向けるべきだと思います。大学や企業といったところでは、今、研究所建設に適した地―空気がきれいで生活環境がいい、研究に没頭できる場所―を捜しています。魚津にはそれがありません。また、受け入れることのできる余地があると思います。これからは、付加価値の大きい仕事ということに目を向けて街づくりに取り組んでいただければと思います。



コーディネーター **小杉 紘平氏**
魚津運輸株式会社取締役社長
魚津市緑町

今は「地方の時代だ」といわれているようですが、魚津の置かれている立場は、座して待っていれば、すばらしい時代が来るといったことはありません。

「蜃気楼の見える街」魚津が「蜃気楼のような街」魚津と言われないためにも、第5次基本計画に基づいて、すばらしい未来へ、具体的に確実な一歩を歩みだすことが大事です。

そのために、私たち市民も協力していかねばならないと思います。どうもありがとうございます。

—第23回—

うおづまつり

(花火は10日)



▲たまや～



▲リズムも合っている感じがに



蝶のように軽やかに

第23回じゃんとこいうおづまつりは、8月7日から4日間の日程で華やかに催されました。

ミスうおづスリークイーンコンテスト、38チーム 1,700人の踊り子によるせり込み蝶六踊り街流し、勇壮なかけ声でひき回すたてもんなどの行事が繰り広げられました。

台風のため順延となった花火大会は、レーザー光線と4,040発の花火が、夜空を彩りました。



エキスポとやま博

7月10日～9月27日

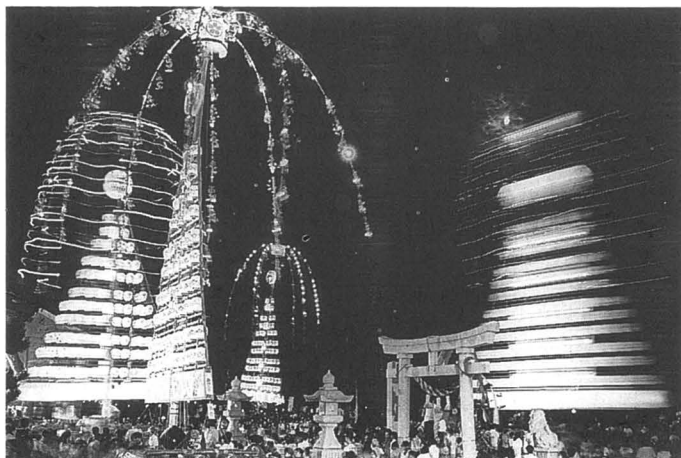


ふるさと万華鏡

「魚津市の日」

8月3日

ふるさと万華鏡「魚津市の日」が、8月3日エキスポ劇場で催されました。
テーマは「ミラクルワールド・ファンタジー、蜃気楼の見える街・魚津」。
「たてもん」と「せり込み蝶六踊り」、小学校児童の獅子舞、ブラスバンド演奏や合唱など5団体が出演して、ふるさと魚津を紹介しました。



▲祭りにたてもんは欠かせません



▲ミスしんきろうー山崎 徳子さん
ミスうおづー有沢 好美さん
ミスたてもんー田中 貞恵さん



夏の風物詩

8月7日～9日



▲蝶六踊りで祭りも最高潮

第6回 全国大学女子軟式野球大会

8月5日～10日

より美しく

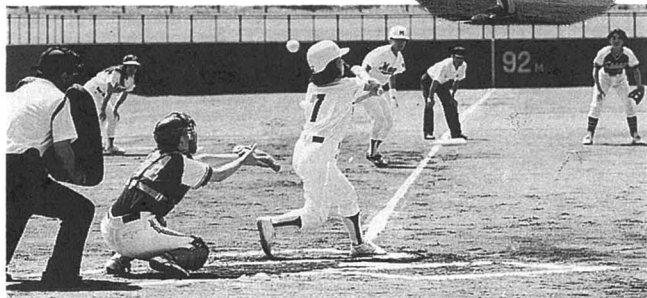
よりダイナミックに

第6回全国大学女子軟式野球大会が、8月5日から6日間の日程で桃山野球場で行われました。

これまで最多の21チーム(昨年18チーム)が参加し、力と技を競い合いました。

決勝戦は、3年連続の「日本体育大学と金沢女子大学」

優勝 日本体育大学
準優勝 金沢女子大学
第3位 洗足学園魚津短大
富山女子短大



早く下水道の利用を…

9月10日(木)は全国下水道促進デー

伸ばそう下水道

下水道

きれいな水をみらいまで

下水道の普及によって、美しい街が、川が、海が、よみがえります。下水道は、安全で快適な生活を確保するために必要な施設です。しかし、現実には下水道の普及率は、全国で約40%

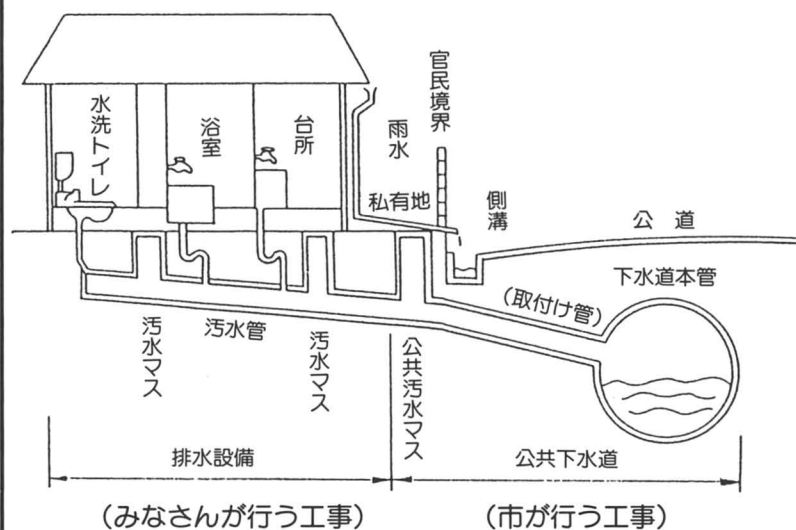
Q & A

Q、敷地内に設ける「マス」の大きさはどれくらいですか。

A、道路に最も近い宅地内には、まず、市の費用で「公共汚水マス」が付けられます。大きさは内径40センチの丸型です。このマスから下水管に導かれます。

個人が付けるマスは、公共汚水マスから内側で、排水設備の距離などに応じて作っていただきます。大きさは、内径15～30センチの丸型です。

Q、公共汚水マスは、一戸当り1個は必ず取付けてもらえますか。
A、市の費用で、一戸に1個の公共汚水マスを作ります。また、敷地面積が大きい場合(500平方メートル以上)は、増設します。



という状態で、欧米の先進国と比較すると大変遅れています。

魚津市では、昭和60年度から公共下水道事業に着手し、今年で8年目を迎えました。昨年10月には浄化センターが通水し、一部区域で供用開始もでき、着々と事業を推進しています。

また、下水道の普及と促進を図るため、この「全国下水道デー」に合せて、市役所前に下水道促進用横断幕と、標語などの立看板やのぼりを設置して、市民の皆さんにアピールしています。下水道事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

排水設備と

水洗化工事

市の下水道工事が終わりましたら、汚水を下水道に流すために、皆さんのご家庭で公共汚水マスに接続する排水設備工事が必要になります。そしてこれは、市の指定工事店で施工してもらう必要があります。

また、くみ取り式や浄化槽式のトイレも下水道に接続した水洗便所に改造しなければなりません。このとき既存の便槽は廃止することになります。

皆さんのご家庭でも、できるだけ早く下水道を利用していたくようお願いします。

調査にご協力ください

10月1日

全国一斉に実施

就業構造基本調査

この調査は、国民の就業状態を調査し、国や地方の雇用対策などの行政に関する基礎資料を作成するために実施するものです。全国で約43万世帯を抽出して調査します。選ばれた世帯には調査員が9月下旬からお伺いしますのでご協力をお願いします。

商業統計調査

商業実態基本調査

商業統計調査は、全国の飲食店(一般飲食店)の実態を明らかにすることを目的に、商業実態基本調査は、商業の経営の実態を明らかにすることを目的としています。調査の結果は、国や都道府県における商業・中小商業の育成、流通機構の近代化などの施策を進める上での基礎資料として利用されます。

◎秘密の厳守

提出された調査票は、統計法により厳重に秘密が守られ、調査の目的以外には一切使用いたしません。

◎問い合わせ先

市総務課行政係

☎ 22-2200 内線 221

(土曜閉庁のお知らせ)

市の機関は9月(9月5日)から

すべての土曜日が休み
になります

9月(9月5日)から市の機関は、すべての土曜日が休みになります。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

富山県・富山市では、既に実施しており、他の市町村も順次土曜日が休みになります。

休みになる部門	業務を行っている部門
・本庁 ・連絡所 ・健康センター ・浄化センター ・給食センター ※ 婚姻・死亡などの届出は、宿日直者において受付ます。	・市民会館・清掃部門・地域職業訓練センター・保育園・つくし学園・母子寮・福祉センター・百楽荘・経田福祉センター・こばと児童センター・運動公園及び総合公園事務所・小中学校・幼稚園・教育センター・総合体育館・市民研修センター・魚津水族館博物館・魚津埋没林博物館・魚津歴史民俗博物館・公民館・図書館・勤労青少年ホーム・消防署 ※ 小中学校・幼稚園・教育センターは9月から第2土曜日が休業日となります。

◎市民の皆様の深いご理解と

ご協力をお願いいたします

学校週5日制が

9月12日(土)から始まります

市立幼稚園、小・中学校では、2学期から毎月第2土曜日を休業とする学校週5日制が実施されます。

学校週5日制に合わせ、社会教育施設などの開放や各種団体による企画が計画されています。

皆さん気軽に参加・利用してください。

●無料開放する社会教育施設・体育施設

水族館・埋没林博物館・歴史民俗博物館・総合体育館

※無料開放は土曜休業日の午前中のみ。希望者は学校長の証明書を書口で提出ください。

●開放する社会教育施設

公民館・学校(一部)・図書館・児童センター・青少年ホームなど

再生資源を利用した製品を

積極的に利用しましょう

私たちの身の回りにはみなさんが資源回収に出された再生原料を利用した製品が多数あります。再生紙のトイレットペーパーやエコマーク付の日曜雑貨製品など買物をする際に、ちょっと気をつけて見ると意外と多いものです。



エコマーク商品は、使用することで環境への負荷が少なく、環境改善効果が大きい環境保全型の商品についています。これらを積極的に利用して再生資源の需要を拡大することが、資源回収と同時

に、これからのリサイクル社会の形成には欠かせません。



こみ 17

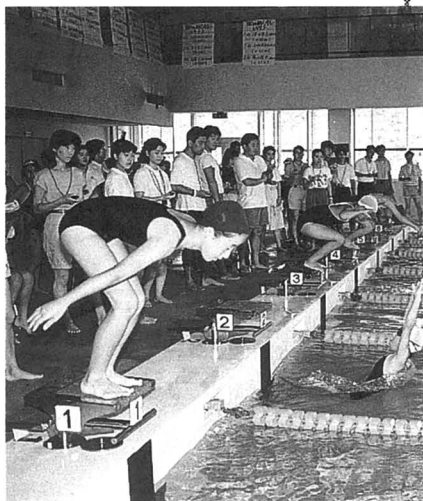
魚津市小学校水泳記録会

「魚津市小学校水泳記録会」が7月30日、市営室内温水プールで行われました。競技は、競泳の部と検定の部に分けて行われ、市内全小学校から5・6年生約400人が参加しました。

競泳の部は、自由形・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ（各50m学年・性別）と学校対抗200mリレー・200mメドレーリレーで順位を競いました。

検定の部は、泳法・距離・タイムにより泳ぎの能力を特級から3級までの4段階で認定するもので、最上級の特級には52人が合格しました。

また、この日は、9個の新記録が出ました。



広
場



僕らが最初に発見するゾ

7月28日、「夏休み博物館教室・山城発掘コース」として、小学生による松倉城跡の発掘調査が行われました。

この発掘は、市教育委員会が、これから始める本格的な発掘調査のための基礎調査として行ったもので、この日は市内の小学生8人が参加しました。

松倉城は、県指定の文化財で、南北朝時代から室町・戦国時代に栄えた越中最大規模の山城といわれています。築城の年代は明らかにされていません。

これまで松倉城跡の発掘調査は行われたことがなく初の発掘調査とあって、子供たちは、「自分たちで新発見を。」と意気込んで調査を始めたのですが…。

残念ながら「新発見。は次の機会にお預けになってしまったようです。

ふるさと再発見

⑥

石垣遺跡



石垣遺跡は、魚津市石垣字大坊に所在する縄文時代と室町時代の遺跡である。この遺跡は、戦前から考古学の愛好者の間で知られており、縄文土器や石器が採集されていた。昭和46年に石垣地区の圃場整備が行われることになり、工事が着工される前に発掘調査が行われた。調査は夏休み期間を利用して西部中学校の生徒や魚津出身の大学生が中心となって進められた。この調査の参加者の中には、現在、考古学の専門家として活躍している人もいる。

石垣遺跡の調査では、狭い範囲から8棟の住居跡が発見された。住居跡はいずれも縄文時代中期の中頃（約四、五〇〇年前）のもので、当時、この地に大きな村があったことが判明した。

あの人このグループ

全国スポーツ・レクリエーション祭

年代別バドミントンに出場する

保要 孝三さん(左)

(市内新角川 41歳)

有坂 富夫さん(右)

(市内大海寺新村 41歳)

住居跡の周囲からは、たくさん縄文土器や石器が出土した。この遺跡の特徴として、縄文時代中期に村が作られ、その後、後期から晩期（約二、五〇〇年前）まで続いている点があげられる。このように長期間にわたっていることから、この地が、石器時代の生活において、住みやすかったことを示している。



楽しい思い出できたかな？

鹿児島県川内市スポーツ少年団（団員17人・指導者7人）が、8月21日から魚津市を訪れ、23日までの3日間、魚津市スポーツ少年団と交流を行いました。

魚津市スポーツ少年団と川内市スポーツ少年団の交流は、魚津市スポーツ少年団が昭和60年から串木野市スポーツ少年団と交流を続けていたことがきっかけとなり、平成元年から始まりました。

21日に歓迎式典が市総合体育館で行われ、22日は立山アルペンルート観光、23日にはスポーツ交流が行われました。

川内市スポーツ少年団の団員たちの魚津市での宿泊はすべてホームステイだったようです。子供たちにはこれが一番思い出に残ったのではないのでしょうか。

親子で市政バスに参加

市の公共施設を見学し、自分たちが住んでいる魚津市はどんなところかを知ってもらおうと「魚津市政バス教室・ふれあい親子コース」が8月9日に行われ、市内の5組16人の親子が参加しました。

市役所を出発し、万灯台・下水道浄化センター・歴史民俗博物館・桃山陸上競技場・水族館・消防署を見学しました。

歴史民俗博物館では、企画展「魚津市40年の歩み」に展示されている写真を前に、子供にその頃の思い出を話しているお母さんもいました。

台風の影響で天候には恵まれない一日でしたが、それでも、親子のふれあいは十分できたようです。



憩いの

《お母さんの一言》
元気で、明るい子になってく
ださいね。



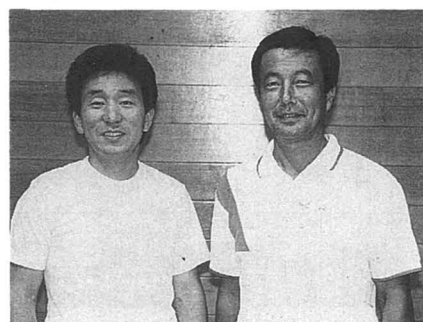
河岸 拓生くん（周一・裕子さ
ん夫妻の長男） 住吉
平成3年1月7日生まれ

元気くんとスクスクちゃん

二人がバドミントンを始めたのは中学生の時からで、バドミントン歴は30年になります。ダブルスを組んだのは社会人になってからですが、それでももう20年近くになります。県レベルの大会では3度も優勝している。

「プレーしている時の楽しそうな顔について引っぱられます」（有坂）。「とてもたよりになるパートナーです。試合ではいつも助けてもらっています」（保要）。…と互いに相手のことを話している二人は、富山県スポーツ・レクリエーション祭・年代別バドミントンの部で優勝し、今度10月17日から島根県で開催される「全国スポーツ・レクリエーション祭」に出場する保孝三さんと有坂富夫さん。

そうです。



《お母さんの一言》
もう少し女の子らしくなっ
てね。



馬場 一恵ちゃん（修一・恵子
さん夫妻の長女） 木下新
平成2年12月7日生まれ

お知らせ

らせ

ホームヘルパーを募集します

高齢化社会に向けて魚津市では、在宅福祉サービスの充実のためホームヘルパーを募集します。

ホームヘルパーの仕事は、一人暮らしの老人の方や高齢者世帯、ねたきり老人宅などを訪問し、日常生活のお世話や介護を行う仕事です。

◎募集人員 若干名
◎資格 昭和28年4月1日、昭和38年4月2日までに生まれた者

◎魚津市内に住所を有する者
◎高等学校卒業程度の学力のある者
◎健康な者

◎願書受付期間

9月1日(火)～30日(水)
※申込・問合先

市社会福祉課福祉係
(☎22-2200内線121)

魚津保健所から

増築工事のため車の利用は控えて

魚津保健所では、7月下旬から12月下旬まで待合室と相談室の増築工事を行っています。

工事期間中駐車場が少ないため、多数の方が一度に利用される健康診断時には車の利用を控えてくださるようお願いいたします。

計量器の定期検査

富山県計量検定所では、平成4年度の計量器定期検査を次の日程で行います。営業用などで「はかり」を使用している方は、必ず受検してください。

月日	時間	検査場所
9/24(木)	午前10時～午後12時	小川寺公民館
9/24(木)	午後1時30分～午後3時	経田公民館
9/25(金)	午前10時～午後3時	加積公民館
9/28(月)		大町公民館
9/29(火)		市民会館
9/30(水)		勤労青少年ホーム
10/1(木)		魚津市役所

市選挙管理委員会から

選挙人名簿の縦覧

毎年9月1日現在で登録資格を有する者を、9月2日に選挙人名簿に登録することになっています。これにより調製した選挙人名簿を次により縦覧に供します。

◎縦覧期間 9月3日(木)から9月7日(月)まで

◎縦覧場所 魚津市選挙管理委員会事務局

海区漁業調整委員会選挙人名簿登録申請

富山県内の漁業に関する事項を処理するため、富山海区漁業調整委員会が設置されています。この委員選挙に使用する選挙人名簿に登録されるには、登録申請が必要です。該当者は次の期間内に申請してください。

◎申請期間 9月1日(火)から9月5日(土)まで

◎申請できる人 年間90日以上漁船を使用する漁業を営み、またはこれに従事している者

※問合先 市選挙管理委員会または各漁業協同組合

石崎七郎さんが受賞

運輸大臣表彰



石崎七郎さん「魚津市本町」が、運輸省の「海をきれいにする一般協力者の奉仕活動者」として、7月20日運輸大臣表彰を受けられました。

石崎さんは、昭和53年から蜃気楼の見える海岸として有名な、魚津港海岸及び臨港道路のごみ、空缶拾い等の美化清掃活動を行われ、臨港道路内の「ちびっこ広場」には植樹をして、連日の散水、除草の奉仕活動等緑化の推進にも尽力されました。地域の緑化、清掃活動のリーダーとして積極的な活動をしています。

9月9日は救急の日

あなたはご存知ですか心肺蘇生法

救急医療に関する展示会

とき 9月3日(木)から9月9日(水)まで

ところ 魚津サンプラザ3階

内容 家庭などにおける救急処置及び心肺蘇生法の図解説明



昨年の実技指導風景

ご寄付ありがとうございました

〈敬称略〉

▶社会福祉基金として

古市 菊枝 下、朝日町 100,000円

▶善意銀行へ

匿 名 3,000円

大野 三郎 天神野新 50,000円

全江 功 末広町 50,000円

米山 和夫 横枕 30,000円

土屋 裕子 青島 50,000円

河口 絹代 出 70,000円

野村 幸男 立石 5,000円

茅野 義博 文化町 50,000円

海原 育雄 諏訪町 50,000円

本多 英子 本町二丁目 50,000円

城 信義 並木町 50,000円

石崎 七郎 本町一丁目 10,000円

愛の募金箱経田福祉センター 10,262円

魚津市役所 2,534円

林 正二 文化町 50,000円

石黒 五市 中央通り二丁目 50,000円

上口保育園職員一同 4,200円

黒部 雄一 青島 50,000円

浜藤 忠弘 諏訪町 50,000円

宗隆 美則 島尻 50,000円

(株)三井自動車友の会

天神野新 3,000円

濱田 紀行 本江 50,000円

濱田 弘 本町二丁目 30,000円

林 章彦 本江 30,000円

故有沢宗一 火の宮町 100,000円

村沢 雅博 金浦町 100,000円

真門宗蔵社中 本町一丁目 50,000円

清水 静憲 友道 100,000円

(株)魚津鋳金 吉島 5,000円

友田 道治 新角川二丁目 10,000円

小笠原己喜雄 本江 50,000円

金坂 行雄 吉野 50,000円

(株)丸八 北鬼江 タオル 200本

▶無縁仏供養に

匿 名 5,000円

▶市広報送付謝礼として

山本 与一 大阪府中央区 5,000円

＝電話情報＝

●市政情報テレホン・サービス

☎22-3600

●キャブテン・サービス(テレビ画面案内)市役所ロビー、水族館無料休憩所

●求人テレホン・サービス(魚津公共職業安定所) 男子(月～木)

女子(金～土) ☎24-8841

●税務テレホン・サービス(税務相談室 富山分室)

☎0764-31-9222

●健康テレホン・サービス(県保険医協会)

☎0764-42-0003

9月のテーマ

(1) 尿路結石症

(2) どもり

(3) あまり病気扱いされない低血圧症

(4) 入れ歯のはなし①

(5) 膝に水がたまる

(土・日) 家庭における親子の役割

高齢者

交通安全旬間

9月11日(金)～20日(日)

重点活動

●高齢者の交通安全に関する県民の意識の醸成

●高齢者の歩行中(特に横断中)及び自転車乗用中の交通事故防止

●高齢運転者の交通事故防止

秋の

全国交通安全運動

9月21日(月)～30日(水)

重点活動

●若年運転者による無謀運転の防止

●高齢者の交通事故防止

●シートベルト着用の徹底

●迷惑駐車者の追放

川の瀬田地

商店宅地2区画

分譲中

●分譲地番号・面積

101番 293 44 m²
102番 747 53 m²

(一人で2区画購入可)

※申込・問合せ先

(財)魚津市開発公社(市開発課内) ☎22-2200内線371

なお、一般住宅は完売しています。



母子家庭の方へ

母子家庭医療費助成

受給資格者証の登録更新手続きを

10月1日から新しい受給者証にかかります。

手続きをされないと、10月からの医療費は負担して頂くことになりますので、忘れずに手続きをしてください。

●更新手続き期間と場所

9月28日(月)から30日(水)まで市社会福祉課医療給付係 ☎22-2200内線125

●持参するもの

受給資格者証、印鑑、保険証 ※午後7時まで受け付けています。

入館者が10万人になる日はいつ?

なる日はいつ?

魚津埋没林博物館

はがきで

ご応募ください

4月29日にオープンした魚津埋没林博物館は、入館者が8月24日現在で80,384人に達しています。

入館数が10万人になる日はいつか、その月日を当ててください。

当てられた方には賞品を贈呈致しますので、ふるってご応募ください。

■応募方法

はがきの裏に10万人になる月日、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入の上お申し込みください。

■締切

9月18日(金)当日消印有効

■賞品

魚津埋没林博物館のテレホンカードと入場券

■問合せ・応募先

〒937 魚津市釈迦堂814番地 魚津埋没林博物館 ☎22-11049

